

染色加工（実務と応用）

開催中止

テキスタイルカレッジ「染色加工（基礎）」では、染色の基本的な考え方から天然繊維と合成繊維での染色加工技術に関する基本技術について原理を含め「やさしく、わかりやすく」解説いたしました。「染色加工（実務と応用）」では、繊維業界に長年携わってこられた方々に基礎講座を踏まえ繊維別に染色加工の実際の対応や応用技術に関して詳細に解説していただき、さらに高機能加工などの要素技術・省エネ・環境関連技術や安全性と法規制など現在の繊維業界が抱えている課題を「よりわかりやすく」解説していただきます。講義内容は、最近の技術の進歩や新たな染色加工技術へと展開についても触れていただきます。実務で染色加工に携わっておられる方々のみならず、アパレル製品関連をはじめコストダウンや環境関連技術分野をも含めた幅広い分野の方々を対象としていますので、多数の方々のご参加をお待ちしております。

1日目【11月26日（木）】

（1）染色助剤および機能加工剤（10.00～12.00）

元日華化学、金崎技術士事務所 金崎 英夫

世界的に環境対策・安全性が重視される中で、加工剤薬剤の安全性に対する関心が高まっている。又、欧米を中心に展開されているグローバル認証や機能性の国際規格をクリアするためには、加工処方や加工薬剤の見直しが必要となってくる。そこで今回は環境・安全性・健康・快適性等に関して話題となっている機能性加工剤の業界動向について紹介する。

（2）セルロース系繊維の染色加工（13.00～15.00）

元東洋紡、日本繊維技術士センター 橋本 嘉顯

基礎講座を受け、それぞれの工程を深堀しつつ、「生産現場を意識した、留意点や問題解決の方向性を」及び「繊維製品の調達を意識した、各工程の意義や品質問題を実現場のサンプルを通して」解説します。

（3）タンパク質系繊維の染色加工（15.15～17.15）

元日本毛織、元日本羊毛産業協会 長澤 則夫

ウールとシルクは代表的なタンパク質系繊維です。外観や手触りが優れているなど繊維としての価値が高く高価という特長があります。繊維構造は非常に複雑でデリケート、そして多くの機能を併せ持っています。そのような特質を理解した上で染色や機能加工を行う必要があります。このようなタンパク質系繊維の染色・仕上加工の工程での位置付けと実際の注意点を解説します。

Textile College

オススメ関連情報

- 染色加工（基礎）が9月25日（金）に開催。詳細は学会のページをCheck <http://tmsj.or.jp/>

2日目【11月27日（金）】

（4）合成繊維の染色加工（10.00～12.00）

元帝人、日本繊維技術士センター理事長 嶋田幸二郎

合成繊維及び各種複合繊維使いの織編物の機能性付与加工は、日本のテキスタイル加工の重要な要素技術で進化している。単一の繊維素材の知識だけでなく複合素材に対応する知識が必要となっている。長年繊維メーカーで実際の染色加工会社において技術開発および経営管理に従事した経験をもとに、最近発表されている多くの機能性付与技術を含め、染色および機能仕上加工の応用を重点にして今後の役に立てるようにサンプルや動画などを利用してわかりやすく解説します。

（5）捺染加工及び環境技術（13.00～15.00）

一般社団法人日本染色協会 大阪事務所 所長 大島 直久

- 1) 人々の生活を豊かにする着衣に、自然界の美しさや抽象的なデザインを配することは、人類の文化として古くから種々の技法が考案され進化を遂げてきた。その技法には一定のルールがあり、かつその応用技術も併せて発展を遂げている。また、ここ十数年間で急激に進化を遂げているデジタルプリントについても基本原理と応用についての理解が必要である。本講座では、この両者の捺染(テキスタイルプリント)についての特徴を理解して頂くように解説します。
- 2) 染色加工産業は、各種薬剤、水資源、エネルギー多消費産業であり、これらは環境へのインパクトが大きい。ただし、個々の事業所の規模が中小規模であるがために社会的には大きな問題となっていない。しかし、中小といえども数が集まると近隣地域への環境問題に発展する。染色加工産業の環境インパクトについて日本国内のみならず途上国での実態とその解決法について実務（標準法）と応用技術について事例をあげて理解を深めて頂くように解説します。

（6）機能性繊維の品質評価（15.15～17.15）

元 繊維評価技術協議会、日本繊維機械学会フェロー 越智 清一

我が国が得意とする各種機能性繊維の分類例、機能性試験方法のJIS、ISO標準化提案例を紹介したあと「清潔」「安全・安心」「快適性」及び「イージーケア性」カテゴリー別の代表的な機能性について、その付与メカニズムと評価方法について解説します。

■期日：2020年 11/26（木）、27（金）

開催中止になりました

■会場：大阪科学技術センタービル

大阪市西区靱本町1-8-4

<http://www.ostec.or.jp/>

■アクセス：地下鉄四つ橋線「本町駅」下車

28号出口北へ徒歩5分

■定員：30名（定員になり次第締め切らせて頂きます）

■主催：一般社団法人日本繊維機械学会

■協賛：大阪染色協会、関西ファッション連合

オススメ関連情報

■参加費（税別）

会 員：25,000円、協賛団体会員：25,000円

非会員：33,000円、学生会員：5,000円

学生非会員：7,000円

正会員年会費は8,000円です。

この機会にご入会ください。

<http://tmsj.or.jp/society.php>

■参加申込方法：Webよりお申し込み下さい
<https://tmsj.or.jp/textile-college/webentry/>

■お問合せ

日本繊維機械学会

Tel：06-6443-4691, Fax：06-6443-4694

E-mail：info@tmsj.or.jp

●染色加工（基礎）が9月25日（金）に開催。詳細は学会のページをCheck ☞ <http://tmsj.or.jp/>